

令和2年度 第2回徳島県総合教育会議

WITHコロナ時代における教育施策の展開について

～未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる「人財」の育成に向けて～

1 「新時代の学び」への対応（第1回会議を踏まえて）……………P 1

2 徳島教育大綱の進捗状況 …………… P 3

3 令和3年度に向けた施策の基本方針 …………… P 4

（参考資料1）新しい時代の特別支援学校の在り方報告 …… P 8

（参考資料2）令和4年度全国高等学校総合体育大会 …… P 9



令和2年12月23日
徳島県教育委員会

1 「新時代の学び」への対応（第1回会議を踏まえて）①

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた「学びの保障」について

オンライン

ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障

- ・オンライン教育の充実（1人1台端末の有効活用）
- ・家庭でのオンライン学習による学びの保障
- ・多様な子どもたちを誰一人取り残さない個別最適化された学び

対面

全人的な発達・成長を促す場としての学校の役割

- ・対面授業の有用性
- ・体験、経験を重視する学校行事の重要性
- ・友人、教師との交わりの必要性

「オンラインによる教育」と「対面による教育」とのハイブリッド化(ベストミックス)

徳島県GIGAスクール構想推進本部

【推進内容：ハード・ソフト・人材を三位一体とした体制強化】

●ハード面（徳島県GIGAスクール構想）

【国のGIGAスクール構想】

- ・義務教育段階諸学校の全児童・生徒に対する1人1台端末の整備

【本県独自の取組】

- ・高校生（特別支援学校高等部含む）への1人1台端末の整備

- ・全小・中・高等学校に対する高速大容量校内LAN整備（従来1GB→今後10GB）

●ソフト面の整備

- ・共通アプリケーション導入（授業支援・Web会議）
- ・デジタル教科書の有効活用

●家庭環境の整備

- ・家庭におけるオンライン教育
- ・危機管理対策（緊急時の授業方法検討）
- ・端末等の管理方法検討

●ICT活用指導力の充実

- ・研修の充実
- ・指導実践事例作成
- ・各学校のニーズに合わせたサポート事業

●不登校児童生徒の学びの支援検討

- ・GIGAスクール構想で整備される環境を活用した不登校支援

1 「新時代の学び」への対応（第1回会議を踏まえて）②

国のGIGAスクール構想に先駆け，オンライン教育実証モデル校での実証

実証 内容

- ・ 端末や高速ネットワーク整備の実証
- ・ 効果的なデジタル教材の在り方を検証
- ・ 遠隔授業システムや教職員のテレワークシステムの実証
- ・ 教員のICT活用指導力（授業力）の在り方の検証

県立学校（3校）の取組状況

- ・ 城東高等学校（大学・企業・海外との交流）
- ・ つるぎ高等学校（学びの状況把握・効果的学習支援）
- ・ ひのみね支援学校（個々の教育ニーズに応じた教育活動）

市町村立学校（5校）の取組状況

- ・ 上板町：高志小学校（学校と家庭との学びの連続性）
- ・ 阿南市：桑野小学校（情報モラル教育）
- ・ 美馬市：穴吹中学校（Web会議システム活用）
- ・ 三好市：東祖谷小・中学校（外部機関との連携）



個別最適化学習



授業支援ソフトを活用した学習



Web会議での交流学习



協働学習

2 徳島教育大綱の進捗状況①

I. 未知への挑戦！未来を創る教育の推進

①持続可能な社会を具現化する「徳島ならではの」教育の推進

◆徳島発！新次元の消費者教育の推進

- ・「エシカルクラブ」の設置及び「エシカル甲子園」の開催
- ◆二地域居住を加速する「デュアルスクール」推進事業
 - ・新型コロナウイルス感染症に対応したガイドラインを策定のうえ実施
- ◆6次産業化実践教育ステップアップ事業
 - ・学校間連携、生徒間協働による生産から販売への実践的取組を実施

②「Society 5.0」をリードする資質や能力の育成

◆新時代の学びを支えるICT環境整備事業

- ・全県立学校に高速大容量の校内LAN（10Gbps対応）を整備

◆高校生等1人1台情報端末配備事業

- ・高校生（特別支援学校高等部含む）への1人1台端末の整備

◆「GIGAスクール構想」加速化事業

- ・全県立学校（中・高）の普通教室に電子黒板の整備

電子黒板の活用



③世界に羽ばたく「グローバル人材」の育成

◆Tokushima英語村プロジェクト エンジョイ！コミュニケーション事業

- ・各学習段階に応じた英語体験プログラムを実施

◆新未来創造・高校生育成プロジェクト

- ・未来の徳島を牽引する人材育成のための教育プログラムを実施

II. 夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進

①真の知性を育む「深い学び」の実現

◆スーパーオンリーワンハイスクール事業

- ・高校生が独自に企画実施する地域や学校の特色を活かした取組を支援

◆高大・地域連携キャンパス実践展開事業

- ・徳島大学教員による高大連携授業等の実施

②将来を描き、可能性を最大化する教育の推進

◆未来へつなぐ「キャリア教育」推進プロジェクト

- ・「キャリア・パスポート」の活用によるキャリア教育の充実

◆18歳！新成人への学びプログラム事業

- ・主権者意識を高めるための出前講座を実施

◆幼児教育推進体制構築事業

- ・徳島県幼児教育振興アクションプランⅢの推進

③成長を支える「豊かな心、健やかな体」の育成

◆地域と学校の連携・協働強化事業

- ・放課後等の多様な学びや体験活動への支援を実施

◆元気なあわっ子！応援事業

- ・児童生徒の健康課題解決に向けた取組を推進

◆「ふるさとの味」食育支援事業

- ・学校における食育の推進と学校給食の充実に向けた取組を実施

高校生と幼稚園児の食育を通じた交流



2 徳島教育大綱の進捗状況②

Ⅲ. 一人ひとりが輝く！ 多様性を育む教育の推進

①個性が輝き、多様性を育む教育の推進

- ◆新時代対応！国府支援学校整備事業
・ダイバーシティの先導モデルとなる学校整備
- ◆発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業
・「徳島ならではの」発達障がい教育モデル構築
- ◆特別支援学校「みんなが主役」きらめき事業
・児童生徒が地域で輝く特別支援教育を推進

支援学校「みまカフェ」



②互いに尊重し、支え合う教育の推進

- ◆多様性を認め合う人権教育支援事業
・性的マイノリティ等に対応したスタッフを派遣
- ◆SNS活用「生徒の心の相談」実証事業
・LINE相談の実施期間を大幅に拡大

③共に生きる、「多様な力」を育む教育の推進

- ◆帰国・外国人児童生徒“いきいき事業”
・希望する全ての児童生徒に日本語講師を派遣

Ⅳ. 誰もがいきいき！ 生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進

①生涯を通じた「豊かな学び」の創出

- ◆県立しらすぎ中学校施設整備事業
・R3.4月開校に向け、教育環境を整備

②とくしまの未来を守る「防災教育」の推進

- ◆ふるさと大好き！地域防災推進事業
・防災クラブを中心とした地域防災活動の推進
- ◆チャレンジ防災人材育成推進事業
・地域防災の担い手となる高校生防災士の育成

近隣保育園と合同の避難訓練



③すべての子どもが学び、成長する教育環境の充実

- ◆学校業務支援システム構築・運営事業
・R3.4月の本格稼働に向けシステムを構築
- ◆部活動指導員配置促進事業
・専門的知識や技能を有する外部人材の配置
- ◆高等学校におけるコミュニティ・スクール推進事業
・県立高校におけるCS導入に向けた取組支援

Ⅴ. 世界へ飛躍！「徳島ならではの」 文化・スポーツレガシーを創出する教育の推進

①レガシーを創出 「躍動スポーツとくしま」づくり創出

- ◆NEO徳島トップスポーツ校強化事業
・全国大会上位入賞に向けた運動部強化を実施
- ◆県立学校スポーツ施設レガシー創出事業
・R4全国総体に向けたスポーツ施設の整備

②世界に輝く「あわ文化」の創造

- ◆羽ばたけあわっ子！文化芸術共創・発信事業
・あわっ子文化大使による紹介MAPの制作
- ◆輝け高校生！文化芸術創造事業
・名西高校定期演奏会、美術・書道展の開催

③「ふるさと徳島」への誇りと郷土愛を育む教育の推進

- ◆輝け高校生！文化芸術創造・発信事業
・第5回ジュニア浄瑠璃フェスティバルの開催
- ◆ふるさと創生拠点ハイスクール推進事業
・地域学習等の実施による高校魅力化を推進

ライフセービング研修



3 令和3年度に向けた施策の基本方針①（政府予算の主な内容）

～＜全国知事会からの提言＞及び＜徳島発の政策提言＞が反映！～

令和2年度第3次補正予算案

- ◆学校等における感染症対策等支援 (341億円)
幼・少・中・高・特別支援学校等において感染症対策に必要な保健衛生用品等の購入費やコロナ禍に対応するための教職員研修等の経費、特別支援学校スクールバスにおける感染リスクの低減を図る取組に必要な補助等の支援を行う
- ◆GIGAスクール構想の拡充等ICT環境の整備 (259億円)
高等学校段階における低所得者世帯の生徒が使用するICT端末や通信環境の円滑化に向けた整備、オンライン学習システム等の「GIGAスクール構想」の拡充、全国学力・学習状況調査のCBT化に向けた調査研究等、ICT活用による子供たちの学びを保障できる環境の早急な実現や幼稚園のICT環境の推進を図る。
- ◆スマート専門高校の実現 (デジタル化対応産業教育装置の整備) (274億円)
専門高校において、デジタル化対応装置の環境整備を図ることにより、最先端の職業教育を行い、地域の産業界を牽引する職業人材を育成する。
- ◆高校生等への修学支援 (102億円)
新型コロナウイルス感染症の影響により困窮している高校生の世帯に、支援が必要な教育費を上乗せ支給する。
- ◆学校設備等の整備 (2,365億円)
児童生徒・学生等の生命を守り、自然災害発生時には地域の避難所となるほか教育研究活動を支える重要な知的インフラでもある学校施設や災害支援機能を有する船舶等に対し、衛生環境改善や耐震対策、防災機能強化等の整備を推進する。

令和3年度当初予算案

- ◆少人数によるきめ細やかな指導体制の計画的な整備 (改善数+744人)
少人数によるきめ細やかな指導体制を構築するため、義務教育標準法を改正し、小学校について学級編成の標準を5年かけて、学年進行で35人に計画的に引き下げることとし、学級編成の標準の引下げに伴う副校長・教頭や生徒指導担当教員などの教職員配置の充実のための定数改善を図る。
- ◆多様な人材の連携により、学校教育活動の充実と働き方改革を実現
 - ・学習指導員等の配置 予算額39億円 (+7億円)
人数11,000人 (+3,000人)
 - ・スクール・サポート・スタッフの配置 予算額39億円 (+20億円)
人数9,600人 (+5,000人)
 - ・中学校における部活動指導員の配置 予算額12億円 (+1億円)
人数10,800人 (+600人)
- ◆学校現場におけるデジタル教科書の導入を促進
 - ・1人1台端末の環境が整っている小・中学校を対象としてデジタル教科書（付属教材を含む）を提供し普及促進を図る。
予算額2,033百万円（新規）

3 令和3年度に向けた施策の基本方針②（徳島県教育委員会）

未知を切り拓く共通戦略

GIGAスクール構想の展開

個別最適化に向けた「教育DX」の加速

※DX：デジタルトランスフォーメーション（デジタル変革）

- 1人1台端末のフル活用による個別最適化された学びの充実
- 全教員を対象とした、ICT活用研修の充実による授業改善
- 家庭における通信環境の確保による平時・有事を問わない学習環境の構築

サポート体制の充実

- GIGAスクールサポーターをはじめとする人的サポート体制の強化

モデル校における1人1台端末を活用した授業実施



ICTを活用したオンライン遠隔授業



働き方改革の推進

ICTの更なる活用

- GIGAスクール構想の実装を通じた業務改善
- 県下統一した「学校業務支援システム」の本格運用（R3.4月）

外部人材の活用推進

- 教員志望の学生や退職教員等の地域人材を活用する「学びサポーター」の配置充実

研修の進化

- 教員研修の抜本的見直しによる質的改善

心の健康づくり対策

- 定期的なストレスチェックの更なる活用

スクール・サポート・スタッフの配置による働き方改革



サテライト会場での教員研修実施



ダイバーシティとくしまの実現

ダイバーシティ先導モデルの構築

- 「新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会」の意見を踏まえた施策の推進
- 新たに策定される「設置基準」に即応し、全国を先導するモデルとなる特別支援学校を整備

全国初の県立夜間中学の開校

- しらさぎ中学校の開校により、年代・国籍を越えた「多様な教育」を提供
- 学校間連携や地域交流の推進により、しらさぎ中学校の教育モデルを積極的に発信

農福連携インターンシップ



特別支援学校生によるお接待



「相乗効果」と「一石多鳥」を実現！！

3 令和3年度に向けた施策の基本方針③（徳島県教育委員会）

令和3年度 重点施策

I. とくしま回帰の推進

持続可能な社会を具現化する「徳島ならではの教育の推進」

- 「エシカル甲子園」の成果を継承・発展
- スーパーオンリーワンハイスクールの進化

「とくしま回帰」の加速

- キャリア教育の充実・強化
- 「世代を越えてつながる社会教育」による地域課題の解決

地域と一体となった教育の推進

- コミュニティ・スクール導入校の拡大

未来を守る「防災教育」の推進

- 高校生防災士の育成・教員防災士の養成を推進し、防災リーダーとしての活動強化

II. 学びの深化

真の知性を育む「深い学び」の実現

- 少人数によるきめ細やかな指導体制
- ICTを活用した「学校間連携・生徒間協働活動」による6次産業化教育の推進

世界に羽ばたく「グローバル人財」の育成

- オンラインによる英語学習をはじめ、ICTを活用した外国語教育の推進
- グローバルな視点と地域（ローカル）の視点を兼ね備えた、グローバル人財の育成

個性が輝き、一人ひとりが活躍できる

「特別支援教育」の推進

- 「ポジティブな行動支援」を軸とした、切れ目ないキャリア教育の展開

III. 健全な心身の育成

心身の成長サポート体制の強化

- 感染症対策の徹底
- SC・SSWの配置促進や、SNSを活用した相談体制の充実

部活動の進化

- 部活動指導員の配置促進による働き方改革
- 専門性を有する外部講師のオンライン指導をはじめ、ICTを活用した文化部活動の推進

全国高校総体のレガシー創造

- R4全国高校総体に向けた着実な運営準備とスポーツ施設の整備
- 国際大会や全国大会等で活躍するトップアスリートの育成・強化

エシカル甲子園



防災教育

6次産業化教育



グローバル人財の育成

オンラインによる演奏指導



トップアスリートの育成・強化

未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる「人財」を育成

(参考資料1) 新しい時代の特別支援学校の在り方報告

国の取組と課題

- 特別支援教育への制度転換, インクルーシブ教育の推進
- 特別支援学校の教室数不足と「設置基準」の策定方針

本県の取組

- 県立特別支援学校の「適正配置」の実施, 完了
- みなと高等学園による「ダイバーシティ」の先駆的取組



技能検定 (ビルメン)

県立特別支援学校の課題

1. 施設の老朽化, 県東部の特別支援学校における狭隘化
2. 校内で教員と児童生徒との関わりを中心とした教育活動
3. 多くの学校の施設は地域や企業等との連携が未想定
4. 「ダイバーシティ」実現に向けた地域への働きかけ強化

来春にも国の「設置基準」策定

みなとの先駆的取組を全県展開

1. 国の「設置基準」を踏まえた基本機能の充実

- 国の示す「設置基準」へ対応
- 「新しい生活様式」に対応した教育環境整備
- 各障がい種への教育的対応に関する専門性のさらなる強化
- 児童生徒の特性に応じ, 将来の就労を見据えた教育内容

2. 地域を学習の場とする「新たな教育内容」の創造

- みなと高等学園による先駆的取組の展開
- 「児童生徒が地域で学ぶ」「地域の方が学校を訪れる」機会を増やす教育の推進
- 「新たな教福連携モデル」の構築
- 地域の防災教育の推進
- ICTを活用した教育活動の推進

3. 新たな教育内容を支える「施設整備」

- 「ゆめみずき」「みまカフェ」等, 先行的な整備事例を横展開
- 地域と一体化したキャリア教育を支える施設
- スポーツ・文化活動を支える施設
- 地域の防災拠点としての機能強化
- ICT活用の基盤となる設備, 機器等

4. ダイバーシティ社会の形成に向けた方策

- みなと高等学園に続く新たな「先導モデル」として「国府支援学校」を再整備
- 「コミュニティスクール制度」を軸とした各学校と地域との相互連携強化
- 特別支援学校のセンター的機能を通じた小・中学校等への「ダイバーシティ」の拡大

新「先導モデル」としての国府支援学校

- 国の「設置基準」と「新しい生活様式」の実現
- 地域, 企業等と連携する「地域一体型キャリア教育」
- 「センター的機能」を通じた小中高へのモデル拡大

他の特別支援学校

施設長寿命化計画の下で推進

地域へ

企業へ

小・中学校
高等学校へ

「ダイバーシティ
とくしま」の
実現!

(参考資料2) 令和4年度全国高等学校総合体育大会



- ◆徳島県実行委員会(会長:飯泉知事)
実行委員会設立総会・第1回総会開催(9/4)
- ◆6つの専門部会を起ち上げ、本格的な開催準備開始



全国高校総体推進室人口に
実行委員会事務局看板設置

【大会開催概要】

1. 開催状況

R元年(南九州)、R2年(北関東:中止)、R3年(北信越)、**R4年(四国)**

2. 実施主体(主催)

全国高体連、開催地都道府県及び教育委員会、中央競技団体

3. 大会期間

令和4年7月23日(土)～8月20日(土)【予定】

4. 開催競技及び開催地(6競技6種目)

○陸上競技(鳴門市)

○バレーボール女子(徳島市、鳴門市、北島町)

○サッカー(徳島市、鳴門市、阿南市、吉野川市、板野町)

○バドミントン(徳島市、鳴門市、吉野川市)

○弓道(徳島市)

○ホッケー(阿南市)

※参加予想 選手・監督・役員:約18,000人、延べ観客数:16万人

5. 総合開会式

令和4年7月28日(木)【予定】会場:アスティとくしま

◆各専門部会の状況

【広報・報道専門部会】

- ・第1回専門部会開催(12/2)
- ・広報物作製(チラシ、ポケットティッシュ等)
- ・公式ホームページ制作委託契約
- ・徳島空港、県内主要駅等に広報活動の協力依頼

【式典・演技専門部会】

- ・第1回専門部会開催(10/7)
- ・演技、音楽、放送、草花装飾の各分科会開催
- ・公開演技の総合プロデューサーに住友紀人氏を招聘
(総合開会式公開演技基本構想等の作成を委託予定)

【競技専門部会】

- ・第1回専門部会開催(9/30)
- ・複数市町開催競技の幹事市町決定(10/30)
(サッカー、バレー女子:徳島市、バドミントン:吉野川市)
- ・競技種目別大会運営費試算(2回目を試算中)

【高校生活動専門部会】

- ・第1回専門部会開催(9/10)
- ・第1回地区推進委員会開催
- ・第1回県推進委員会開催(12/16)
(知事より県推進委員へ委嘱状を交付後記念撮影)



【宿泊・衛生専門部会】

【輸送・警備専門部会】

- ・第1回専門部会開催に向け各委員へ就任依頼手続中
(令和3年2月に開催予定)